

平成23年11月決算特別委員会

平成23年11月8日（火曜日）午後1時33分開議 午後3時45分閉議

◆田中博人◆ 小松空港の機能充実という点について、道路整備や箱物など、ハード事業に投資されています。私は周辺を余り歩いたことがなくてわからないのですが、駐輪場があるのかお聞きします。

⇒ 堀岡修次 参事兼企画振興部次長兼都心地区整備構想推進室次長 私の認識では、空港の中や周辺にはないと思っています。

◆田中博人◆ 時代の流れに沿って企画するプロの皆さんのお話を聞きますと、今の小松空港は、小松市街地からの自転車道路も含めて駐輪場が必要ではないか。

新幹線が来るようになれば、その流れをつくるのが大事ではないかとの指摘も聞こえています。この時代に、自転車置き場がないことを考えていかなければいけないと思うのですが。

◎表正人 空港企画課長 失礼しました。先ほど駐車場がないと思っていましたが、調べますとパーキング場の外に屋根つきの駐輪場があります。

パーキング2の中、ターミナルビルの前の有料駐車場の中の一部に駐輪場が存在します。

◆田中博人◆ これからは、空港を利用するのにも、自転車で来て、さっと乗って帰る時代でもあり、そのような時代のニーズを把握していただきたい。部長からもう一度決意のほどをお聞きしたい。

もう1点は、会計検査院が平成22年度決算で、県内で8件指摘されたことが、今日公表されました。算定方法の誤り等の原因が多く、悪質なものは見当たらないとのことであり、ほっとしているのですが、所管の中で該当するところがあるのか、なかったのかお聞きします。

⇒ 小森卓郎 企画振興部長 まず、空港の駐輪場の件です。

空港施設に駐輪場があるかないかということについて、担当でもきちんと把握していなかったことで、意識の低さが出てしまった気がします。

小松空港へは車でいらっしゃる方が大層であろうかとは思っていますが、これからさまざまな方のニーズにこたえられるものとして発展していかなければならないと思っています。本日、よい御指摘をいただきましたので、今後きっちり把握して努めたいと思っています。

会計検査院の件です。

私どもに関係があるのは、能登で地方バスの赤字補てんとして特別交付税の計算方法が本来、変更していたところを前年までの計算方法を使っていたため、その分が過大であったということが1件あります。

中身は特別交付税ですので、どこまでが企画振興部か若干微妙なところですが、私どもと関係があり得るところです。

◆田中博人◆ 七尾港の岸壁整備のおくれは、企画振興部は工事を担当するところではないから関係ない。地域活性化事業の補助はどこですか。所管でなければいいです。

⇒⇒ 小森卓郎 企画振興部長 私どもの所管ではないと考えています。

◆田中博人◆ 過払いや算定方法で、これはもう修正しているわけですか。これからですか。2010年だと平成22年度から、この中に出てくるわけですね。

⇒⇒ 堀岡修次 参事兼企画振興部次長兼都心地区整備構想推進室次長 ただいまのバスの件ですが、我々の補助金で出している分については指摘になっていません。先ほども部長が説明しましたが、特別交付税についての算定誤りでありますので、企画振興部には該当しません。

◆田中博人◆ NPO活動支援センターの運営で1,200万円を財団法人の石川県県民ボランティアセンターに委託している。これは確認ですが、業務内容なり所管が全然違うところであっても、NPO法人に関して県はここで1本ということか。

⇒⇒ 三国栄 県民文化局長 基本的には窓口はこのNPOセンターです。

◆田中博人◆ 平成22年度にはNPOの申し込み等含めて認可がどのぐらいあったのか。それと累計でNPOは幾つあるのかお伺いします。

⇒⇒ 吉野隆 県民交流課長 現在のNPO法人の数については、ことしの9月末現在で県内304法人です。

平成22年度は13法人、また、今年度9月末までに8法人が設立されています。

◆田中博人◆ そうすると、今の新しくつくる際の申込窓口業務と、従来からのNPOの中の堅実な運営をしているかというチェックと合わせて財団法人に1,200万円で委託していることですか。

⇒⇒ 吉野隆 県民交流課長 NPOの認証あるいは監督については、法律に基づいて県が直接実施をすることになっておりますので、NPO活動支援センターは利用者の利便を図るということで県の職員を常駐させて、その職員が認証や監督業務を行うという運営をしています。

あと、財団法人県民ボランティアセンターについては、これは主に情報提供や、東日本大震災のボランティアバスを出すような実際的な活動を行わせていただいて、NPO活動支援センターで財団法人の活動と県の認証業務を一緒にさせていただいています。

◆田中博人◆ もう1点は、地域の集会所等の整備に対する助成です。これは3,400万円あって、市町から8カ所ということで1か所あたり400万円余りで本当に額の少ないものと思うのです。実際8カ所は、当然市も町も財政的に厳しいから、上げてくるのを絞ってきているのか、希望ある中から、優先順序をつけてやっているのか、いかがですか。

⇒ 三国栄 県民文化局長 地域コミュニティの施設は、地域にとって大変重要な施設だと思っています。

基本的には、県に上がってくる場合には、市町を通して上がってくるわけですが、市町も応分の負担があります。市町の段階で絞っているかは把握していませんが、県に上がってきたものについては、基本的には条件が合致しているものについてできるだけすべて対応している状況です。

◆田中博人◆ できるかぎりしているとは、予算外になり、補正してでもみんな、その希望をかなえるように対応しているということですか。

⇒ 三国栄 県民文化局長 年によってはばらつきもありますし、次年度に送る場合もありますが、基本的にはできるだけ対応できるように努力したいと思っています。

◆田中博人◆ 自治区の運営ということには、コミュニティ施設等の拠点が必要であるが、実際にはまだまだ行き渡っていません。だから、本当に400万円余りぐらいですが、大変ありがたいことでもありますので、ぜひ続けていっていただきたいと特に要望申し上げます。

最後に、兼六園周辺文化の森活性化の推進で、イベント等をやる場合もあると思うのですが、文化振興という諸施設について、県だけではなく、例えば市のもの、それから民間のものを含めて大体網羅しているか。どういう利用状況であるのでしょうか。

⇒ 池崎一人 文化振興課長 兼六園周辺文化の森ミュージアムウィークですが、平成18年から10月1日からおおむね1週間、兼六園周辺においてイベントであるとか、県立美術館、歴史博物館、能楽堂、伝産館といった兼六園周辺の活性化を目的として開催しています。多くの方々に文化施設に来ていただき、石川県の文化に触れていただく機会を設けたいと。あわせて、周辺には金沢市の文化施設もありますので、金沢市との連携も十分図りながら実施してきているところです。

◆田中博人◆ ある程度、網羅しながらやっているということで、大変大事なことです。市にも輪を広げ、民間でも周辺の振興になるものを全体に網羅し相乗効果を上げることに、これからも力を入れていっていただきたいと特にお願いしたいと思います。

⇒ 三国栄 県民文化局長 利用されるほうから見ますと、別に県の施設か市の施設か、あるいはどこの部局が所管しているか全く関係ないわけで、県、市、関係部局とも連携して今後とも取り組んでいきたいと思っています。